

会合案内

フォーラム会合のご案内

「第2回 ITER 科学・技術意見交換会」の最終案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年に引き続き今年も開催する「第2回 ITER 科学・技術意見交換会」への事前登録の締め切りは本日です。多くの国内専門家（産業界、大学、研究機関等）に是非ご参加いただき、活発な意見交換をお願いしたいと思います。

今回の意見交換会では、文部科学省の参加も得て、国際協力で進めつつ日本の核融合研究開発の中核装置（実験炉）でもある ITER の設計、開発、試験、製作、建設などの最新状況について紹介するとともに、ITER 理事会下の科学技術諮問委員会（STAC）で議論されている技術課題やその検討内容を報告します。また、原型炉合同コアチームの活動状況や JT-60SA 装置の据付状況についても紹介する予定です。

下記要領にて核融合ネットワークと合同で開催する「第2回 ITER 科学・技術意見交換会」へ参加ご希望の方は、下記「参加申込み書」にて至急事前登録をお願いします。

日 時： 平成 25 年 9 月 16 日(火) 11 時～16 時頃(予定)
会 場： 核融合科学研究所 管理棟 4 階大会議室
岐阜県土岐市下石町 322-6
TEL: 0572-58-2222
会場 URL: <https://www.nifs.ac.jp/michi/index.html>

プログラム：（1）はじめに
（2）我が国の核融合政策の現状と課題
（3）原型炉合同コアチームからみた ITER への期待
（4）ITER 建設と機器製作の状況（IO,JA,他極）
（5）STAC で議論されている主な技術課題
・昨年会合以降の STAC の審議状況
・研究計画とフルタングステンダイバータ
・設計成熟度
・超伝導マグネット
・その他の課題
（6）総合討論
（7）JT-60SA 装置の進捗（組立状況）
（8）おわりに

参加申込締切日・連絡先：

平成 26 年 9 月 5 日（金曜日）

期間厳守をお願いいたします。

核融合エネルギーフォーラム会員として参加希望の場合は、
核融合エネルギーフォーラム事務局

E-mail : fusion-energy-forum@jaea.go.jp

FAX : 029-270-7468

参加にあたっての留意点 :

- 核融合エネルギーフォーラム会員として参加される場合、事前登録（申込）を必ずお願いします。非会員での参加はご遠慮下さい。
- 本会合の議事内容及び録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。
（講演者他の同意を得た会合報告や発表資料等を核融合エネルギーフォーラムの下記ホームページに掲載しますのでご覧下さい。）
<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>
- 本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。
但し、時間の制約などご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。
- コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。
- 旅費配分等については、ご一任いただきますようお願い申し上げます。
- 航空機をご利用予定の方は事前に会合幹事までご相談下さい。

主な利用条件は以下です :

- 1) 早期割引チケットのみ利用可
- 2) 特別シートなどの手当は自費負担
- 3) マイレージポイントの私用カードへの登録自粛
- 4) 半券、領収書、印鑑の持参、など（会合幹事宛後日郵送可）

補1）会合終了の遅れなど、やむを得ない理由でフライト変更が必要になった場合は申請内容を確認して発生した追加費用を支給。

補2）宿泊ホテルとセットになった切符の利用は不可。

参加申込書

第2回 ITER 科学・技術意見交換会にフォーラム会員として参加

送 付 先 : fusion-energy-forum@jaea.go.jp 029-270-7468 (FAX)

氏 名 :

会員番号 :

所属職位 :

連絡先 :

eメール :

旅費希望 : (あり・なし)

附帯用務 : (あり・なし)

前泊有無 : (あり・なし) ヘリコンクラブ利用者は領収書提出

発着駅名 :

出張日程 : 日～ 日 (泊)

コメント欄

核融合エネルギーフォーラムから国内専門家として参加する場合、会合出席や参加に伴う旅費支給は会員に限らせていただきます。

未入会の方は、この機会に是非ご入会下さい。入会ご希望の方は、<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>のトップメニュー「概要」内の「入会案内」をご覧ください。入会に当たり会費及び入会費は不要です。

旅費には限りがあり、支給できない場合が多々ございます。予めご承知置き下さい。

「第2回 ITER 科学・技術意見交換会」開催のご案内

平素より、核融合エネルギーフォーラムの活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年に引き続き今年も「第2回 ITER 科学・技術意見交換会」を開催する運びとなりました。

この意見交換会は、国際協力が進めつつ日本の核融合研究開発の中核装置（実験炉）でもある ITER に関し、その設計、開発、試験、製作、建設などの最新状況について理解を深めるとともに、ITER 理事会下の科学技術諮問委員会（STAC）での議論や検討に資するため、国内専門家（産業界、大学、研究機関等）に多数ご参加いただき、広く意見の交換を行うとともに、必要に応じて意見の集約をはかる場でもあります。

第2回意見交換会も前回と同様に核融合ネットワークと合同で下記要領にて開催することになりましたので、ご案内します。参加ご希望の方は、下記「参加申込み書」にて事前登録をお願いします。是非ご参加ください。

日 時： 平成 25 年 9 月 16 日(火) 11 時～16 時頃(予定)
会 場： 核融合科学研究所 管理棟 4 階大会議室
岐阜県土岐市下石町 322-6
TEL: 0572-58-2222
会場 URL: <https://www.nifs.ac.jp/michi/index.html>

プログラム（案、全て仮題）：（1）はじめに
（2）日本の核融合政策について（文部科学省）
（3）原型炉合同コアチームからの報告
（4）ITER 建設と機器製作の状況（IO,JA,他極）
（5）STAC で議論されている主な技術課題
（6）総合討論
（7）BA 活動の進捗状況
（8）おわりに

参加申込締切日・連絡先：

平成 26 年 9 月 5 日（金曜日）

期間厳守をお願いいたします。

核融合エネルギーフォーラム会員として参加希望の場合は、

核融合エネルギーフォーラム事務局

E-mail : fusion-energy-forum@jaea.go.jp

FAX : 029-270-7468

参加にあたっての留意点：

- 核融合エネルギーフォーラム会員として参加される場合、事前登録（申込）を必ずお願いします。非会員での参加はご遠慮下さい。
- 本会合の議事内容及び録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。
（講演者他の同意を得た会合報告や発表資料等を核融合エネルギーフォーラムの下記ホームページに掲載しますのでご覧下さい。）
<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>
- 本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。
但し、時間の制約などでご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。
- コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。
- 旅費配分等については、ご一任いただきますようお願い申し上げます。
- 航空機をご利用予定の方は事前に会合幹事までご相談下さい。

主な利用条件は以下です：

- 1) 早期割引チケットのみ利用可
- 2) 特別シートなどの手当は自費負担
- 3) マイレージポイントの私用カードへの登録自粛
- 4) 半券、領収書、印鑑の持参、など（会合幹事宛後日郵送可）

補1）会合終了の遅れなど、やむを得ない理由でフライト変更が必要になった場合は申請内容を確認して発生した追加費用を支給。

補2）宿泊ホテルとセットになった切符の利用は不可。

参加申込書

第2回 ITER 科学・技術意見交換会にフォーラム会員として参加

送 付 先： fusion-energy-forum@jaea.go.jp 029-270-7468 (FAX)

氏 名：

会員番号：

所属職位：

連 絡 先：

eメール：

旅費希望：（あり・なし）

附帯用務：（あり・なし）

前泊有無：（あり・なし）ヘリコンクラブ利用者は領収書提出

発着駅名：

出張日程： 日～ 日（泊）

コメント欄

核融合エネルギーフォーラムから国内専門家として参加する場合、会合出席や参加に伴う旅費支給は会員に限らせていただきます。

未入会の方は、この機会に是非ご入会下さい。入会ご希望の方は、<https://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>のトップメニュー「概要」内の「入会案内」をご覧下さい。入会に当たり会費及び入会費は不要です。

旅費には限りがあり、支給できない場合が多々ございます。予めご承知置き下さい。